

D31・D32・D33

ピボットテーブルを活用したデータ分析

【概要】

表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。

会場：【D31】独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 中部職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター中部) (小牧市下末1636-2)

【D32,33】独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 名古屋事務所
(名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階)

講師：【D31,32,33】河野 正博 (株式会社さくら総合サービス)

カリキュラム

■ 多角的データ分析 《2h》	<u>ピボットテーブルとは</u> ピボットテーブルの基本概念を学ぶ。
	<u>ピボットテーブルの活用【演習あり】</u> 実際にピボットテーブルを挿入し、データの集計方法や表示方法をカスタマイズしてみる。特定の条件に基づいてデータをフィルタリングし、集計結果を視覚化する。
■ ピボットグラフによるデータの見える化 《2h》	<u>ピボットグラフとは【演習あり】</u> ピボットグラフの基本とその作成方法を学習する。ピボットテーブルのデータを視覚的に表現することで、データの傾向を把握しやすくする。
	<u>ピボットグラフの種類の変更【演習あり】</u> ピボットグラフの種類(棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど)を変更する方法を学ぶ。
■ 複数テーブルの分析 《2h》	<u>リレーションシップとは【演習あり】</u> Excelで異なる表(テーブル)同士をつなげる仕組みを学ぶ。これにより、複数の表に分かれたデータを1つにまとめて分析することができる。
	<u>リレーションシップの設定【演習あり】</u> サンプルデータを使ってリレーションシップを設定し、統合データの集計を実践。